令　和　３　年　度

（第 31 事業年度）

自：令和３年４月　１日

至：令和４年３月 31 日

事　業　計　画　書

令和３年３月１０日

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

令和３年度事業計画

１　事業方針

東日本大震災から１０年が経過し、国・県・市町村関係団体等からの幅広い支援により生産基盤は概ね復旧し、漁業生産活動には問題がない状況にとなっている。

一方、漁業生産については、海水温の上昇や漁場の変化などより秋さけ、サンマ、スルメイカなど主要魚の水揚げが前年度に引き続き大きく減少しております。養殖漁業でもコンブの減産やホタテの種苗不足や斃死、貝毒出荷自主規制期間の長期化などにより生産量が減少しております。また、アワビは資源の減少と海水温上昇による餌料海藻の不足により水揚量が減少するなど、生産現場を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための移動制限や外食自粛措置等により、水産物の消費需要が大きく減退して、漁家経営をさらに厳しくしております。

漁業就業者については、毎年50名前後の新規就業者の加入がみられてはいるものの、依然として漁業者の高齢化と就業者数の減少は進んでおり、漁業担い手確保対策はますます重要となっております。

このような状況の中で、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応などにより助成事業実績が大きく減少しましたが、国の漁業人材育成総合支援事業による新規就業希望者への長期研修実績は増加しました。また、２年目を迎えた「いわて水産アカデミー」では同運営協議会への運営参加や一期生の就業支援などに参画してきました。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、ウイズコロナを念頭におきながら引き続き基金及び国庫により様々な漁業担い手育成確保対策を実施・支援するとともに、新規就業希望者がスムーズに漁業に着業できるよう「いわて水産アカデミー運営協議会」との連携強化について関係機関と具体的に検討して参ります。

２　事業内容

（１）青少年、漁業志向青年等の漁業への就業促進・維持確保に関する活動支援（公１）

①　漁業担い手確保対策事業（助成事業）

漁業担い手の確保に資するため、小中高生を対象とした体験学習等や、水産高校生の実践的な研修活動、青年層を対象とした体現漁業活動に対し助成する。

ア	小中学生漁業体験・学習事業	10件	助成額	485,000円
イ	水産高校等連携育成事業	3件	助成額	462,000円
ウ	漁業志向青年等体験学習事業	1件	助成額	200,000円
	計	14件	助成額	1,147,000円

② 調査・情報提供の実施（自主事業）

市町村単位の新規漁業就業者育成協議会やいわてで働こう推進協議会等関係機関の会議や就業関連イベントに参加し、岩手の漁業を紹介するリーフレット等を使った情報提供を行うとともに、就業希望者には関係機関と連係して対応する。

（２）新規漁業就業者の育成に関する活動支援（公２）

① 経営体育成総合支援事業（旧：漁業人材育成総合支援事業）

国庫補助事業の実施機関として、全国漁業就業者フェアへの出展支援及び長期研修支援事業として指導者への指導費等の支援を実施する。

事業費　6,629.000 円　（国庫 10/10）

ア　漁業就業促進情報提供事業（自主事業）

全国漁業就業支援フェアへの出展支援や情報提供活動等を行う。

イ　長期研修支援事業（助成事業）

研修受入機関の指導者に対して指導費等の支援を行う。

助成額　5,840,000 円　（国庫 10/10）

② いわて水産アカデミー運営協議会への参画事業（自主事業）

県、市町村等で構成されるいわて水産アカデミー運営協議会に参画し、「いわて水産アカデミー」の運営主体として、漁業就業者の確保・育成を支援することとし、運営経費の一部を負担する。

負担金　2,500,000 円

財源内訳

いわて水産アカデミー参加準備資金　546,690 円（残高 0 円）

一般財源　1,953,310 円

（参考）　令和３年度いわて水産アカデミー運営費にかかるスキーム

単位：千円

<table>
<tr><td rowspan="5">R3予算案</td><td colspan="5">運営費
12,579</td></tr>
<tr><td colspan="4">運営費の総額から研修生授業料を除いた額
11,391</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">財源負担割合
2/3</td><td colspan="2">財源負担割合
1/3</td></tr>
<tr><td>県(一般財源)
5,094</td><td>担い手基金
2,500</td><td colspan="2">会員(41団体)
3,797</td><td>授業料
1,188</td></tr>
<tr><td></td><td>R3拠出可能額</td><td>市町村等
1,770</td><td>漁協
2,027</td><td></td></tr>
</table>

注）運営費の総額から研修生授業料を除いた額について、県、担い手基金、会員の３者で均等分割が基本（12 月 17 日運営協議会報告事項）。

令和３年度は、経過措置として会員が 1/3、担い手基金が 2,500 千円、県はその残額を負担。今後、経費削減対策を進めていく。

（３）青年等漁業者の経営等改善向上に関する組織活動の支援（公３）

漁業経営の発展向上を図るため、漁業青年女性グループ等が行う実践活動交流活動、地域リーダーの資質向上活動等に対し助成する。

要望額が助成配分枠を大きく超過していることから、研究グループ等活動事業助成額の圧縮を図るとともに、県外との交流等にかかる活動については、９月以降になって新型コロナ感染状況を踏まえて再配分する。

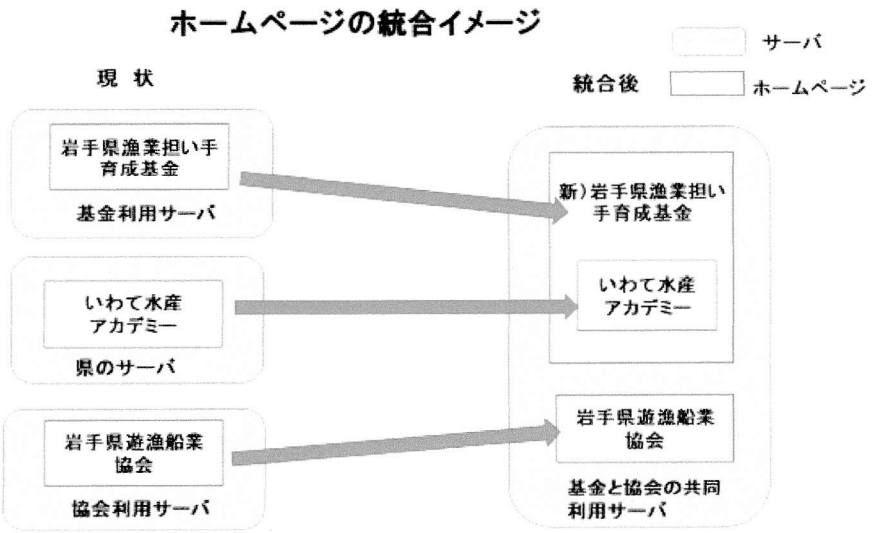
① 研究グループ等活動事業	５件	助成額	750,000 円
（研究実践活動）	５件	助成額	750,000 円
（研修活動）	０件	助成額	０円
② 青年等交流活動事業	２件	助成額	260,000 円
③ 地域リーダー研修事業	１件	助成額	100,000 円
当初配分計	８件	助成額	1,180,000 円
追加配分額（保留事業に再配分）			673,000 円
合　計			1,853,000 円

（４）その他特記事項（いわて水産アカデミー運営協議会との連携強化）

本県における漁業担い手確保・育成対策を総合的かつ効率的に実施する体制整備が必要となってきたことから、当基金といわて水産アカデミー運営協議会の統合など連携強化について、申し入れがありました。

そこで、県及びいわて水産アカデミー運営協議会と具体的な検討を進めていきながら、適宜理事会・評議員会において協議して参ります。

また、今年７月に当基金のホームページ借用期間が満了となることから、この機会に「いわて水産アカデミー」と「岩手県遊漁船業協会」とのシステム統合を行い、情報発信の充実と維持経費の削減に勤めます。



令和３年度助成事業要望と配分計画（案）

公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

１　漁業担い手確保対策事業

(1)　小中学生漁業体験・学習事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
大船渡	岩手県立高田高校	中学生1日体験入学 (操船実習、すり身加工実習	陸前高田市	7月30日	40名		35,000	35,000	35,000	① 要望と同額
大船渡	綾里漁業協同組合	少年水産教室の開催 (ホタテ養殖見学、新巻作り)	大船渡市				57,000	50,000	50,000	① 要望と同額
大船渡	大船渡市漁業協同組合	末崎中学校わかめ養殖体験	大船渡市	12月初旬	23人		103,670	50,000	50,000	① 要望と同額
釜石	釜石湾漁業協同組合	新巻鮭作り体験学習会 (平田小学校5年生)	釜石市平田	11～12月	40人	学校、釜石市、沿岸局	100,000	50,000	50,000	① 要望と同額
釜石	新おおつち漁業協同組合女性部	新巻さけづくり体験学習 (吉里吉里学園小6年生)	大槌町 吉里吉里	11月	15人	漁協、学校、大槌町、沿岸局	75,000	50,000	50,000	① 要望と同額
釜石	新おおつち漁業協同組合	ワカメ養殖体験 (吉里吉里学園7～9年生)	大槌町 吉里吉里	9～3月	33名	漁協青壮年部、学校、大槌町、沿岸局	104,000	50,000	50,000	① 要望と同額
宮古	重茂漁業協同組合	秋サケ体験学習 (ふ化場・定置網見学、加工体験)	宮古市重茂	4～12月	未定		100,000	50,000	50,000	① 要望と同額
宮古	県立宮古水産高等学校	中学生一日体験入学 (体験航海、調理実習)	宮古市	7月29日	100名		100,000	50,000	50,000	① 要望と同額
宮古	岩泉町漁業就業者育成協議会	サケ関連体験学習 (ふ化場見学、新巻作り等)	岩泉町	11月	未定	漁協、町	50,000	50,000	50,000	① 要望と同額
久慈	種市南漁業協同組合	種市地区　少年水産教室 種市中学1年生(55名)を対象としたウニ採り採捕、塩ウニ加工体験。	洋野町種市	7～8月	55名	種市中、種市高、宿戸研究会、女性部、水産部	54,000	50,000	50,000	① 要望と同額
計		10件					778,670	485,000	485,000	

(2)　水産高校等連携育成事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容（課題名）	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
大船渡	岩手県立高田高校	広田湾の生物調査	陸前高田市		6名		40,000	40,000	40,000	① 要望と同額
大船渡		未利用資源の有効利用、商品開発	陸前高田市				30,000	30,000	30,000	① 要望と同額
久慈	岩手県立久慈東高校	ダイナンギンポの安定供給に向けた研究(種苗生産、混養飼育試験)	久慈市	4～3月	8名	もくらんぴあ、水産部、久慈市漁協他	62,000	62,000	62,000	① 要望と同額
久慈	岩手県種市高校	漁協と連携したウニ漁業の外敵生物除去作業を通じた潜水漁業者の育成	洋野町	7～11月	52名	漁協、水産部、水技	330,000	330,000	330,000	① 要望と同額
計		3件					462,000	462,000	462,000	

(3) 漁業志向青年等体験学習事業

単位:円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
宮古	宮古市漁業就業者育成協議会	体験漁業の実施 (漁業・養殖業の主要作業の体験	宮古市	未定	未定	宮古市内3漁協、宮古市、宮古振興センター	220,000	200,000	200,000	① 要望と同額 利益相反
計		1件					220,000	200,000	200,000	
1の合計		14件					1,460,670	1,147,000	1,147,000	

2 漁業担い手育成対策事業

(1) 新規漁業就業者交流事業

単位:円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	

(2) 新規漁業就業者技術研修事業

単位:円

地区	受入経営体(漁業種類)	研修生氏名・年齢	研修の内容	研修場所	研修期間	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	

(3) OJT研修支援事業

ア 国内先進漁家等技術研修(短期研修)

単位:円

地区	研修生氏名・年齢	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	

イ 新規就業者OJT研修(長期研修)

単位:円

地区	研修生氏名・年齢	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	
小計							0	0	0	
2の合計							0	0	0	

3 青年等漁業者資質向上活動支援事業

(1) 研究グループ等活動事業

ア 研究実践活動

単位:円

地区	実施主体	研究等課題	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
釜石	釜石東部漁業協同組合青年部	マコンブの導入による藻場再生試験	両石湾	9～7月	7名	漁協、沿岸局	337,150	337,150	150,000	② 漁村活動助成と同額
釜石	新おおつちカキ養殖組合	アサリ採苗試験	大槌湾	4～3月	11名	漁協、沿岸局	260,000	260,000	150,000	② 漁村活動助成と同額
釜石	唐丹町漁業協同組合ほたて養殖組合	ホタテガイ採苗方法改良試験	唐丹湾	4～9月	41名	漁協、沿岸局	346,775	346,775	150,000	② 漁村活動助成と同額
釜石	釜石神経締め研究会	神経締めの効果試験及び販売試験	県内	4～3月	4名	任意団体	262,000	262,000	150,000	② 漁村活動助成と同額
釜石	白浜浦魚食普及研究グループ	アカモクの新商品開発及び魅力発信	釜石市	6～2月	3名	任意団体、沿岸局	338,000	338,000	0	③女性活動助成に要望のこと
宮古	田野畑村漁業協同組合島越養殖組合	ワカメ促成種苗生産試験	田野畑村		未定	漁協、宮古センター	385,935	350,000	150,000	② 漁村活動助成と同額
計		当初5件 保留0件					1,929,860	1,893,925	750,000	

イ 研修活動

単位:円

地区	実施主体	研修先	研修の内容	研修場所	研修期間	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
釜石	釜石神経締め研究会	新潟県柏崎市	神経締めの先進地視察	漁協等	5～10月	任意団体	242,000	242,000	0	④ 新型コロナで当初見送り
釜石	岩手県漁業士会釜石支部	北海道	北海道におけるホタテガイ養殖の現状視察(斃死対策)	北海道	8～10月	管内漁協、沿岸局	312,000	250,000	0	④ 新型コロナで当初見送り
計		当初0件、保留2件					554,000	492,000	0	

ウ 資格取得活動

単位:円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	講師等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	
小計							2,483,860	2,385,925	750,000	

(2) 青年等交流活動事業

ア 情報交換会の開催等

単位:円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
釜石	釜石湾漁協白浜浦女性部	逗子市商工会等との交流活動(アカモクをテーマとした交流)	釜石市	6～7月	20人	市、任意団体、沿岸局	145,000	145,000	0	④ 新型コロナで当初見送り
釜石	上閉伊地区漁協女性部	魚食普及を通じた岩大生との交流活動	釜石市	6～11月	30人	市、任意団体、岩大、沿岸局	60,000	60,000	60,000	④ 要望と同額
宮古	宮古市漁業就業者育成協議会	未婚漁業者等の婚活交流会の実施	宮古市	未定	未定	宮古市内3漁協、宮古市、宮古水産振興センター	335,000	200,000	200,000	④ 要望と同額
全県	岩手県漁業士会	全国漁村青壮年女性交流大会・全国漁業士連絡協議会の参加	東京都	3月(2日)	3名		156,000	135,000	0	④ 新型コロナで当初見送り

全県	岩手県漁業協同組合女性部連絡協議会	全国青年女性漁業者交流大会の参加	東京都	3月 (2日)	3名	岩手県信用漁業協同組合連合会	250,000	200,000	0	④ 新型コロナで当初見送り
計		当初2件、保留3件					946,000	740,000	260,000	

イ　地区活動研究実績発表大会

単位：円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
久慈	JF岩手漁青連九戸支部	JF岩手漁青連九戸支部 九戸地区活動実績発表大会	久慈市	6月	60名	漁連、水試、水産部	90,000	70,000	70,000	④ 要望と同額
計		当初1件					90,000	70,000	70,000	
小計							1,036,000	810,000	330,000	

(3) 地域リーダー研修事業(漁業士活動等)

単位：円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成要望額	助成額	配分理由等
大船渡	岩手県漁業士会大船渡支部	宮城県漁業士会北部支部との交流会(岩手県開催)	陸前高田市	8月～9月	28名	水産振興センター、気仙沼振興局、管内市町村	96,010	96,010	0	④ 新型コロナで当初見送り
久慈	岩手県漁業士会久慈支部	青森県三八漁業士会との交流会(岩手県開催)	久慈市	10～3月	17名	水産部、漁協、水技	132,000	100,000	0	④ 新型コロナで当初見送り
全県	岩手県漁業士会	漁業士会総会・研修会の開催(東北・北海道ブロック漁業士研修会と併催)	盛岡市等	6月～7月	100名		200,000	100,000	100,000	④ 要望と同額
計		当初1件、保留2件					428,010	296,010	100,000	
3の合計		当初9件、保留7件					3,947,870	3,491,935	1,180,000	

4　地区漁業担い手対策推進協議会活動

単位：円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
4の合計							0	0	0	

5　特別対策事業

(1) 特認事業

単位：円

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	

地区	実施主体	活動の内容(課題名)	実施場所	実施期間	参加人数	指導者・協力機関等	事業費	助成額	助成額	配分理由等
計							0	0	0	
5の合計							0	0	0	

単位：円

総合計	当初23件、保留7件			5,408,540	4,638,935	2,327,000	

地区別集計

	大船渡	釜石	宮古	久慈	全県	合計	当初配分	追加配分	配分額計
1 漁業担い手確保対策事業 【公益目的事業 1】	**205,000**	**150,000**	**350,000**	**442,000**	**0**	**1,147,000**	**1,147,000**	**0**	**1,147,000**
(1) 小中学生漁業体験・学習事業	135,000	150,000	150,000	50,000	0	485,000	485,000	0	
(2) 水産高校等連携育成事業	70,000	0	0	392,000	0	462,000	462,000	0	
(3) 漁業志向青年等体験学習事業	0	0	200,000	0	0	200,000	200,000	0	
2 漁業担い手育成対策事業 【公益目的事業 2】	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
(1) 新規漁業就業者交流事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 新規漁業就業者技術研修事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3) OJT研修支援事業	0	0	0	0	0	*0*	*0*	*0*	
ア 国内先進漁家等技術研修(短期研修)	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ 新規就業者OJT研修(長期研修)	0	0	0	0	0	0	0	0	
3 青年等漁業者資質向上活動支援事業 【公益目的事業 3】	**96,010**	**2,240,925**	**550,000**	**170,000**	**435,000**	**3,491,935**	**1,180,000**	**673,000**	**1,853,000**
(1) 研究グループ等活動事業	*0*	*2,035,925*	*350,000*	*0*	*0*	*2,385,925*	*750,000*		
ア 研究実践活動	0	1,543,925	350,000	0	0	1,893,925	750,000		
イ 研修活動	0	492,000	0	0	0	492,000	0		
ウ 資格取得活動	0	0	0	0	0	0	0		
(2) 青年等交流活動事業	*0*	*205,000*	*200,000*	*70,000*	*335,000*	*810,000*	*330,000*		
ア 情報交換会の開催等	0	205,000	200,000	0	335,000	740,000	260,000		
イ 地区活動研究実績発表大会	0	0	0	70,000	0	70,000	70,000		
(3) 地域リーダー研修事業(漁業士活動等)	96,010	0	0	100,000	100,000	296,010	100,000		
4 地区漁業担い手対策推進協議会活動 【その他の事業 1】	0	0	0	0	0	0	0		
合計	**301,010**	**2,390,925**	**900,000**	**612,000**	**435,000**	**4,638,935**	**2,327,000**	**673,000**	**3,000,000**

・要望に対する助成額の配分方法について　(令和3年2月9日助成審査委員会決定事項)

基金の単年度収支均衡を維持していくには、基金助成金を２５０万円程度とする必要があり３００万円以内とする。

① 漁業就業の入口となり公益性が高い漁業担い手確保対策事業(公益目的事業1)は内容の精査は行うものの要望どおりとする。

② 研究実践活動は、(公財)日本水産資源保護協会　漁村研究実践活動助成事業と同額以内とする(1件あたり上限15万円)。

③ 他の助成事業(幸せ創る女性農林漁業者育成事業等)がより適当と思われる事業は採択しない。

④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、県外との交流を行う活動は採択を見送り、9月以降に要望団体に対して再要望調査を行い、予算額の範囲で再配分を行う。それ以外の要望事業は内容の精査は行うものの要望どおりとする。